

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

健康に配慮した災害に強いエコ住宅

グループの名称

九州の新しい暮らしをつくる会

直近採択グループ番号

06-0155-0723

(グループ代表者)

代表者名

浦口 知治

代表者印

代表者所属先

株式会社 三善建設

代表者所在地

熊本県熊本市南区野田2丁目7番10号

代表者電話番号

096-357-5107

(グループ事務局)

事務局事業者名

パナソニック リビング九州株式会社 熊本支店

事務局担当者名

山村 里美

印

事務局郵便番号

861-4101

事務局所在地

熊本県熊本市南区近見7丁目5番36号

事務局電話番号

096-212-5100

事務局FAX

096-212-5101

事務局担当者E-mail

yamamura.satomi@jp.panasonic.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	健康に配慮した災害に強いエコ住宅
2. グループの名称(必須)	九州の新しい暮らしをつくる会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0155-0723
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	九州地区
5. 結成年(必須)	2016 年
6. グループ代表者名(必須)	浦口 知治
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 三善建設
8. グループ代表者所在地(必須)	熊本県熊本市南区野田2丁目7番10号
9. グループ代表者電話番号(必須)	096-357-5107
10. グループ事務局事業者名(必須)	パナソニックリビング九州株式会社 熊本支店
11. グループ事務局担当者名(必須)	山村 里美
12. グループ事務局郵便番号(必須)	861-4101
13. グループ事務局所在地(必須)	熊本県熊本市南区近見7丁目5番36号
14. グループ事務局電話番号(必須)	096-212-5100
15. グループ事務局FAX番号(必須)	096-212-5101
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	yamamura.satomi@jp.panasonic.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	海外事業者を含みますが、念書取得が困難なため記載していません
II. 製材・集成材製造・合板製造	8	海外事業者を含みますが、念書取得が困難なため記載していません
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	10	
V. 設計	18	
VI. 施工	29	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	3	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
		熊本県産材証明制度	熊本県	熊本県産材証明制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		50	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	50	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		35	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	35	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		12	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	12	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		8	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		29	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	29	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		20	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	20	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
				0	m <sup>2</sup>				
				0	棟				
				その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	m <sup>2</sup>		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)		採択時点で着工可能な物件を持っている工務店に3棟までの範囲内で配分します。 以降、一定期間経過後に同様に配分します。 配分時に採択枠が不足した場合は抽選にて配分します。							
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	13	戸	交付申請戸数	12	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	12	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>健康に配慮した災害に強いエコ住宅</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>九州地区</b>
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>九州の新しい暮らしをつくる会</b>	(結成年) <b>2016年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0155-0723</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季の室内に於ける熱中症等の健康被害をなくすため、H28年基準を最低基準とした断熱性能に優れた住宅とします。パンプ要素を考慮すると共に、全棟外皮計算を行い、数値化により性能を担保します。</li> <li>・フィルターの設置等、室内空気環境に配慮した住宅とします。</li> <li>・認定低炭素レベル以上の省エネ性能を有する住宅とし、太陽光発電や蓄電池、HEMSなど自然災害時に役立つ設備機器を推奨します。</li> <li>・地震、台風等の被害を考慮し、長寿型型に関しては耐震等級2以上とし、併せて制振装置の設置を推奨します。</li> </ul>	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然な湿度調整を考慮した木造住宅とします。</li> <li>・断面欠損を考慮し、金物工法及びテクノストラクチャー工法を採用します。</li> <li>※ただし、技術継承のため手刻みの場合は従来の仕口による工法も可とします。</li> </ul>	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設地の街並みや景観ガイドライン等に基づき、地域に調和したデザインとします。</li> <li>・日射の多い地域では、パッシブに配慮し、庇や軒及び窓形状の検討を行います。</li> </ul>	◎
④①～③の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州は夏季の高温による熱中症等の健康被害が多く発生しており、対策が求められています。</li> <li>・地震災害のみならず台風の襲来による災害が毎年発生しており、耐震性能の向上と共に、災害時に自宅での生活の持続性を向上させるため、エコキュート等の機器の設置が求められています。</li> <li>・黄砂の飛来による健康被害が増加しており、室内の空気環境に対する配慮が求められています。</li> <li>・九州は檜や杉の森林資源が豊富であり、計画的な伐採、植林による地場産業振興が必要とされています。</li> </ul>	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿型補助金活用物件の60%以上を耐震等級3とします。</li> </ul>	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・構造部に用いる木材は、3.5寸角とします。 ※施主要望による場合には、4寸角も可とします。 ・集成材については、JAS認証品とします。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・コスト削減を図るため、標準採用メーカーを定めます。 ・内装・下地材はF4☆を使用し、シックハウス症候群に対策を講じます。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・目安として参考プランに関する標準仕様書を作成し、各構成員ごとに標準仕様書を作成します。	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・内部の標準部材の内、工業製品は事務局で取り纏めを行い、スケールメリットによるコスト削減を図ります。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・専用発注書を作成し、事務合理化を行います。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地域毎に設計工務会を開催し、生産・施工の合理化を推進します。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構成員の成功事例を集約し、構成員に情報提供を行います。 ・各地の設計工務会の開催計画を立て、確実な実施を促します。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各資材メーカーの定める標準施工を順守します。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・瑕疵保険の検査前に自主検査を行うようにし、技術力の向上を図ります。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・耐震性能を担保するため、許容応力度計算による構造計算を推奨します。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・残業時間の制限を含め、魅力的な職場とし若年層の職人不足を解消するために働き方改革の説明会を開催します。併せて工期延長及び経費増になるため、請負契約に反映させるよう注意喚起を行います。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・建設キャリアアップシステムを紹介し、加入を推奨します。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・建設業法等の説明会を開催し、社会保険への加入の必要性を説明します。 ・復興支援のため、県外からの就労者も多いため、入場者名簿の整備を重点取組項目とします。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・希望者には、安全協議会を開催するための資料を事務局が提供し、開催を支援します。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革法案や民法改正を踏まえ、合理化とともに契約書の見直しを推奨していきます。</li> </ul>	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 健康に配慮した災害に強いエコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 九州地区
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 九州の新しい暮らしをつくる会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0155-0723	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・建築主が随時確認できるようにする等透明性を高め、信頼の向上を図ります。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・パナソニック株式会社のリビングベル等情報サービス機関を紹介します。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・引渡し時のメンテナンス説明の際、情報サービス活用方法の説明を行い、建築主が随時確認できるようにします。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・共通の維持管理計画書に基づき、点検・メンテナンスを行います。 ・地震・台風等災害発生時には臨時点検を行います。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理計画に基づき、定期点検時に必要があれば補修します。 ・補修に際しては、新築時同様施工マニュアルに沿った標準施工を行います。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・情報サービス機関に点検・補修記録を登録、施主様にも公開し、確認できるようにします。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・お手入れセミナー等を定期的実施し、日常の清掃とお手入れ点検についてご説明し、建築主の維持管理に対する意識向上を図ります。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・イベント開催時に木工教室や床の傷補修等のDIY体験会を実施します。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が企画し、補助金や税制優遇の紹介を含め、リフォーム相談会を実施し、OB施主にも案内します。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅瑕疵担保保険法人など第三者による住宅診断・定期点検についての講習会を開催し維持管理の対応向上を図ります。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅瑕疵担保保険法人の点検サービスを照会し、活用を推奨します。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施主様からの要望がある場合には、構成員をバックアップビルダーとしたEAJ(エスクローエージェントジャパン)の完成保証制度を紹介します。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構成員の住宅瑕疵担保保険法人に協力いただき、過去事例を学ぶ研修会を開催します。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・維持管理された高品質な住宅ストックの拡大と循環を実現することにより、中小工務店の長期的な経営安定を図るため長期優良住宅建設の拡大に取り組みます。(2018年度 40%)		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・未経験工務店については構成員の設計事務所が個別に支援・協力します。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・長寿命型については施工事業者が現場検査(計4回)を行います。 ※現場検査(計4回):基礎配筋・中間検査・断熱材施工(内装仕上前)・竣工	◎
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局で実施の有無を確認し、記録に残します。 ・中間検査に関しては現場抽出の上、設計構成員による検査を行います。
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・年度初めに構成員ごとに事業計画を策定、それに基づき需給計画を策定します。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が技術力向上のため国策・新技術等の研修会を定期開催します。	◎
	④ ③に基づき業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり、関連事業者を含め、グループ全体で成功事例の共有を図ります。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 30名 今年度の参加目標人数 10名
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局にて地域毎の開催日程を把握、情報発信を行い、構成員に参加を促します。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・技術情報を事務局にて収集し、構成員に周知、グループ内での導入を促進します。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・省エネ技術講習会への参加とあわせBELS認証取得を推奨します。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>健康に配慮した災害に強いエコ住宅</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>九州地区</b>																								
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) <b>九州の新しい暮らしをつくる会</b>	(結成年) <b>2016年</b>																								
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0155-0723</b>																									
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																										
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
a																										
①	地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	1. 地域材は国内・国外の合法木材、または熊本県産材証明制度の木材とします。 2. 地域材を主要構造材の過半に使用します。	◎																							
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎																							
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない		<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に 関する補足説明	<p style="text-align: center;">合法木材証明制度・熊本県産材証明制度</p>																								
b																										
①-1	地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局がプレカット構成員等より需給動向などを収集し、施工構成員に定期的に発信を行います。	◎																							
①-2	地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が複数のプレカット構成員より市況価格を聴取し、施工構成員に定期的に発信を行います。	◎																							
②	グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が施工構成員の受注状況を把握し、定期的にプレカット事業者に発信しスムーズな納品を図ります。	◎																							
c																										
①-1	畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 316枚 (105戸(申請)÷2×6畳)	○																							
①-2	和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
①-3	襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 158枚	○																							
①-4	障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
②-1	その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
②-2	その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
d																										
①	地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
②	地域の住まい方の継承に つながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
③	地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建設地の条例や景観ガイドライン等に基づき、地域の街並みに配慮した設計を行います。	○																							
④	和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 3世代住宅については高齢者に配慮し、和室を設置するよう提案を行います。	○																							
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。																										
カ. その他																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
東日本大震災の復興に資する取組																										
平成28年熊本地震の復興に資する取組			・震災復興応援住宅プランを作成・活用するとともに、構成員の要望に応じ、グループ内での施工力支援を行います。																							

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 健康に配慮した災害に強いエコ住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 九州地区
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 九州の新しい暮らしをつくる会	<small>(結成年)</small> 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0155-0723	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>【高度省エネ型(認定低炭素住宅)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>樹脂サッシ等の採用を推奨し、省エネ基準以上の断熱性能を確保します。                      加えて、省エネ設備機器の採用によりBEI90以下とします。                      木造と節水設備の採用により2項目の低炭素措置とします。</li> </ul> <p>【高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>樹脂サッシ等の採用を推奨し、省エネ基準以上の断熱性能を確保します。                      加えて、省エネ設備機器の採用によりBEI90以下とします。</li> </ul> <p>【高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>樹脂サッシに加え、ガス入り複層ガラス等の採用を推奨し、UA値0.6以下の断熱性能を確保します。                      間取りプラン等の工夫や高効率省エネ設備機器の採用により、一次エネルギーの20%以上の削減を図ります。                      太陽光発電に頼りすぎない、快適で健康に暮らせるゼロ・エネルギー住宅を目指します。                      BELS評価を取得し、第三者機関の評価を建築主に提示する事により、性能に対する信頼の向上を図ります。</li> </ul> <p>【優良建築物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BELS評価で★★★の取得を行います。</li> </ul>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。